

一般社団法人 薬学教育評価機構
2024 年度 定時社員総会 議事録

日 時： 2024 年 6 月 20 日（木） 12：30～14：10

場 所： ホテルグランドヒル市ヶ谷 会場名 東館 3 階 瑠璃

参加者：

社員 （出席） 79 社員代表者（76 大学および 3 団体（代理人含む））
役員等 （理事） 西島 正弘、白幡 晶、山本 恵子、中山 和久、高倉 喜信
（監事） 磯部 総一郎、乾 賢一
（総合評価評議会議長） 太田 茂
来賓 文部科学省 高等教育局医学教育課 薬学教育専門官 小林 一隆氏
高等教育局医学教育課 技術参与 佐々木 由香氏
厚生労働省 厚生労働省医薬局総務課 薬事企画官 大原 拓氏

<配布資料>

- 資料 1 2023 年度事業報告（案）
- 資料 2 決算報告書（第 16 期）（案）
- 資料 3 2023 年度監査報告書
- 資料 4 2024 年度事業計画（案）
- 資料 5 2024 年度予算（案）
- 資料 6 次期役員を選任について（役員規則）
- 資料 7 2023 年度薬学教育評価結果
- 資料 8 役員および委員等一覧
- 資料 9 新組織図および薬学教育質保証委員会規則

1. 理事長挨拶 ※（ ）に該当資料・発表者を記す。
理事長より、開会の挨拶および来賓の紹介があった。

2. 来賓挨拶

(1) 厚生労働省 厚生労働省医薬局総務課 薬事企画官 大原 拓氏

ドラッグロス、供給不安などの問題を解決するための政策実施にあたり、薬剤師の活躍が大前提であり、薬学教育プログラムの評価は将来の質の高い薬学教育および薬剤師養成の実現に向けて非常に重要な取り組みである。

(2) 文部科学省 高等教育局医学教育課 薬学教育専門官 小林 一隆氏

第三者評価の実施により、各大学の薬学教育プログラムの質は保証され、薬学教育プログラムの改善も促進され、国民への医療へ貢献することになる。よって、評価認定制度の果たす役割は大きい。

3. 出席状況および定足数の確認

西島理事長より、正会員 83 大学・団体のうち、75 の社員（大学・団体）が開会時に出席しており、本機構定款 14 条に基づき社員総会が成立したとの報告がされた。なお、総会中に 4 会員の追加出席があった。

4. 議事録署名人指名

西島理事長より、宇都口直樹氏（昭和薬科大学）と大塚英昭氏（安田女子大学）の 2 名が議事録署名人として指名され、異議なく承認された。

5. 資料確認

西島理事長より、配布資料の確認は 6 月 3 日にメールでデータ送信しているため、省略するとした。また、紙ベースの資料は、パソコンやタブレットの状況により必要に応じて配布した。

6. 議 題

<承認事項>

(1) 2023 年度事業報告（案）について (資料 1 高倉理事)

事業担当高倉理事より、資料 1 に基づき 2023 年度事業報告があった。本件は、異議なく承認された。概要は以下のとおりであった。

[管理・運営関連] 実施事項

- ・ 社員総会（年1回開催）
- ・ 理事会（年6回開催）
- ・ 運営委員会（年6回開催）
- ・ 自己点検・評価委員会（年2回開催）
- ・ その他

6年生薬学教育の内部質保証に関するワークショップ開催

「薬学教育（6年制）評価」結果報告書の作成

[評価事業関連] 実施事項

- ・ 「評価審査」の実施（総合評価評議会、評価委員会、評価チーム）
本評価（11大学）：評価チーム会議（2回）および訪問調査（1回）
再評価（2大学）：評価チーム会議（3回）および訪問調査（1回）
「提言に対する改善報告書」の審査：2018年度受審（13大学）
2019年度受審（2大学）
「総合判定の結果に対する改善報告書」（なお書き）の審査：1大学
総合評価評議会：年6回
評価委員会：年7回
異議審査委員会：異議申し立てなし
基準・要綱検討委員会：年6回
評価結果に関する面談について：7大学
- ・ 第2期評価のための評価実施員の養成（評価委員会）：第16回評価者研修会
- ・ 第三者評価実施のための関係者への説明会の開催（評価委員会）
- ・ 薬学教育ハンドブックの改訂（評価委員会）

(2) 2023年度（第16期）決算報告書（案）

（資料2 中山理事）

財務担当中山理事から、資料2に基づき2023年度の決算報告があった。収入と支出に関する概要は以下のとおりであった。本件は監査報告および質疑応答を経て、承認された。

【収入】

受審大学の増加（本評価10大学から本評価11大学と再評価2大学に増加）により若干の収入増となった。

【支出】

事業費：支出増加の理由は、事務局人件費の定期昇給および非常勤職員の増員、コロナ禍を経て再開した訪問調査、対面会議に伴う謝金・交通費・会議

費の増額、一時的に特別研究員4名と契約したためである。また、消費税の支払いもあった。

管理費：HPに掲載するインタビューが実施されず、若干の支出減となった。

*質疑応答

質疑：兵庫医科大学薬学部長 青木俊二氏

- ① 繰越金が9千万円あるが、2024年度予算の会員費・その他についての改定がない。収入のところを全く触らない意図は何か。
- ② 経常支出約1億円のうち、人件費が約5千万円である。職員の人数を示して組織の運営状況を分かるようにしてほしい。

応答：① コロナ禍により、会議の交通費等が不要となり支出が抑えられ、収支が改善してきた。しかし、当年度から対面会議等を再開したため支出増となった。また、受審料は第2サイクルが終わらないと改定できない。

② 決算報告書は会計事務所が作成している。来年度から、事務局が作成する予算案には反映する。

(3) 2023年度監査報告について (資料3 磯部監事)

磯部監事より資料3に基づき監査報告がなされた。磯部監事は各理事会に出席してきたとし、また、監事監査により本機構の事業運営等の確認を行った結果、決算書類は会計帳簿の記載と合致し、適切な運営がされているとした。

(4) 2024年度事業計画(案)について (資料4 高倉理事)

高倉理事より、資料4に基づいた事業計画の提案があった。本件は異議なく承認された。概要は以下のとおりである。

[管理・運営関連]

- ・ 定時社員総会、理事会、運営委員会およびその下部委員会の開催
- ・ 2024年度新設校(2校)への「自己評価21」対応計画
- ・ 自己点検・評価委員会開催(3回)、自己点検・評価報告書の作成
- ・ 薬学教育質保証委員会開催(数回)、ワークショップの開催

[評価事業関連]

- ・ 11大学(本評価対象校11校)の審査実施
- ・ 提言に対する改善報告書、なお書きに対する改善報告書の審査実施
- ・ 第2期評価のための評価実施員の養成(評価委員会)

- ・第三者評価実施のための関係者への説明会の開催（評価委員会）
- ・基準・要綱の検討
- ・「薬学教育（6年制）評価」結果報告書の作成
- ・薬学教育評価ハンドブックの改訂（評価委員会）

(5) 2024年度予算（案）について （資料5 中山理事）

中山理事より、資料5に基づいた予算案の説明があった。本件は異議なく承認された。概要は以下のとおりである。

資料4の2024年度事業計画（案）に基づき、予算を編成した。昨年度と同様に、収入103,700千円に比べ、支出105,700千円であり、約2,000千円の赤字を見込む。また、例年通り、管理費と事業費にまたがる項目は会費と手数料の収入の比で予算を按分した。

(6) 次期役員を選任について （資料6 山本理事）

総務担当山本理事より、資料6に基づき、次期役員を選任について説明があった。本件は異議なく承認され日本薬剤師会の総会后（6月29日、30日）新会長岩月進氏を第2号理事とすることとなった。

- | | | | | |
|-----|---------|----|-------|--------|
| (ア) | (第2号理事) | 退任 | 山本 信夫 | 日本薬剤師会 |
| (イ) | (第2号理事) | 選任 | 岩月 進 | 日本薬剤師会 |

(7) その他

なし

<報告事項>

(1) 2023年度薬学教育評価結果について （資料7 太田議長）

総合評価評議会太田議長より、資料7のとおり昨年度の評価結果（第2期の3年目。本評価11校、再評価2校）を報告した。全ての大学において適合となった。第1期の評価結果と比較して、各大学の教育プログラムの質が向上しているとした。

(2) 役員および評価事業関連委員会委員について （資料8 白幡副理事長）

白幡副理事長より、資料8のとおり2024年4月時点での役員および委員会委員について報告があった。

(3) 新会員の紹介について (資料なし 西島理事長)
西島理事長より新会員として順天堂大学の紹介があり、薬学部長の岩淵和久氏より挨拶があった。

(4) 新組織図について (資料9 山本理事)
山本理事より、資料9のとおり薬学教育質保証委員会を理事会のもとに設置したと報告があった。

(5) その他
事務局栗原より以下の報告があった。 (資料なし)
令和4年度のモデル・コア・カリキュラム改訂と大学設置基準等の改正に対応するため【基準3-1-1】および【基準5-1】に「補足」を追記した「第2期評価基準 Ver. 2-2 (2023年12月)」が公表された。これらに該当する基礎資料が更新されたこと、基幹教員制で自己点検・評価を実施する場合には事務局にご一報いただきたいこと、2025年度本評価からは添付資料の紙媒体での提出部数を削減し、電子化資料による評価作業を推進していくことが報告された。

以上、議事の経過および結果を明確にするため、この議事録を作成し、定款第19条第2項により、議長および議事録署名人は記名押印する。

2024年7月25日

一般社団法人 薬学教育評価機構
議長 理事長 西島正弘 (押印済)

昭和薬科大学
議事録署名人 学長 宇都口直樹 (押印済)

安田女子大学薬学部
議事録署名人 学部長 大塚英昭 (押印済)

一般社団法人 薬学教育評価機構
議事録署名人 事務局長 佐野良伸 (押印済)